

日時・場所	平成29年8月7日（月） 8時45分～ 庁議室
出席者	山仲市長、寺田政策調整部長、上田総務部長、田中市民部長（代理：田中次長）、瀬川健康福祉部長、辻村健康福祉部政策監、小山都市建設部長、遠藤環境経済部長、竹中教育部長、川端会計管理者、北脇広報秘書課長、事務局（企画調整課）

## 1. 市長指示事項

- ・ 台風5号が接近しているのでそれぞれの役割の中で責任をもって対応すること。
- ・ ライフサイクルコストをしっかりと意識すること。南桜の里原橋の撤去や健康福祉センターのトレーニング機器の廃棄等に多額の費用がかかるとの報告を受けている。入口では負担が少なくても出口はどうなのか、維持管理コストはどれだけかかるのかなど、受益と負担の関係を踏まえ、大きな視点で物事を考えること。
- ・ 先日、事務手続きの誤りを2件公表したが、特に税や料金に関することについては公表しないと不信感が出るので、軽微なものでも公表している。防ごうと意識したり、注意力を高めたりしないといけないが、それよりは、余裕、ゆとりをもって仕事をするとともに、仕事に積極的に関心を持ち、手ごたえを感じられるようにすること。
- ・ 6日、被爆72年となる原爆の日を迎えた。日本は核兵器禁止条約に参画できていない。本当に真剣に考え、これからの平和を保とうと思ったら、条約への参画にまで及ばないといけないという意見もある。一方で、唯一の被爆国だからという理由が通用しない状況にもなっている。平和について考えるにあたり、このような現状を認識しておくこと。
- ・ 国連において北朝鮮に対する制裁決議をされた。76年前に日本も同様の厳しい制裁を受けたが、戦争は止まらなかった。このような歴史的事実を踏まえ、本当に平和を保とうとするのであれば、制裁により本当に問題が解決するのか真剣に考えないといけない。報道によると、制裁は圧力という意見もあるし、いわゆる兵糧攻めという意見もあり、それでよいのか微妙な問題である。本当に真剣に考えないと、たちまち市民生活に及んでくる。このようなことも認識した上で仕事に取り組むこと。

## 2. 報告事項

### ① 平成30年度国県要望の実施について

〔所管： 政策調整部〕

平成29年7月24日（月）と7月31日（月）に教育委員会部局及び知事部局に対し要望を実施したので、要望書の配布のみという形で8月度全員協議会に報告する。  
→市として責任を持って県へ要望した結果について、議会へお知らせするというスタンスであることを再度認識しておくこと。

### ② 会議録の作成及び市議会全員協議会における会議結果報告等の方向性について

〔所管： 総務部〕

#### 【会議録の作成】

会議の要点等を明確にして記録に残すため、また、業務の効率化・職員の負担軽減の観点から会議記録については要録のみ作成することとする（全文記録を必要とする場合を除く）。将来的には、市ホームページで要録を公開し、誰もが閲覧できることをめざす。会議音声の録音は会議録作成時の備忘を目的とし、会議録作成後には当該録音データを消去することとし、会議出席者にもその旨周知すること。会議録の記載方法、様式等の基準がないため統一的な様式を提示する。

#### 【市議会全員協議会における会議結果報告等の方向性】

会議開催予定については、従来どおり、イベントや〇〇審議会・〇〇協議会・〇〇策定委員会等開催予定など、参加や傍聴可能なものを情報提供する。

会議結果の報告に当たっては、政策的観点から各部で「説明あり」とするかどうかも含めて精査の上、庁議を経て判断する。

→情報共有、意見交換、結論を会議の要点とした上で、組織内の情報共有、市民・議会との情報共有を図ることを方針とする旨、整理すること。

### ③ 平成29年第4回野州市議会定例会提出議案（案）について

〔所管： 総務部〕

決算認定11件、予算8件、条例改正4件、その他4件、人事案件3件を提出する。

#### ④ 全員協議会への報告事項について

[所管: 総務部]

報告事項5件、会議結果報告事項3件、連絡事項2件を8月度全員協議会に報告する。追加等がある場合は連絡願う。

→「重症心身障害者通所施設設置・運営事業者の公募結果及び再公募について」は、湖南4市の共通情報を草津市に整理してもらい、その内容を報告すること。

→「余熱利用施設のPFI実施方針について」、「体育センターの閉館について」を追加予定である。

### 3. 協議事項

#### ① 平成28年度野洲市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

[所管: みず事業所]

平成28年度野洲市水道事業会計未処分利益剰余金1,325,349,128円のうち、老朽管等の更新事業の財源に充てるため、152,729,195円を建設改良積立金に積み立てる。また、会計基準の見直しにより生じた1,172,619,933円を資本金に組み入れるため地方公営企業法第32条2項の規定に基づき議会の議決を求めるものである。なお、その他未処分利益剰余金変動額の1,172,619,933円については、過去に補助金等で取得した資産でみなし償却をしていなかった資産の減価償却相当額を収益化したものであり、実質的には減価償却済みであり、損益勘定留保資金としてすでに補填財源に使用されていることから、資本金に組み入れるものである。

→料金改定の効果は出ているのか。

→7月分の料金調定から増収を見込んでいる。

→これだけ利益が出たのであれば、料金を上げる必要がなかったのではないかという意見が出る可能性がある。経過等詳細を分かりやすく説明すること。

→平成28年度決算で約8,400万円の当年度純利益が出たが、税務調査において料金の調定期間の修正を指導されたことにより、過年度損益修正益として約6,800万円を計上した。これは27年度で処理すべきものを28年度に繰り越して利益として計上した単発的なものであり、会計処理上の利益である。それを除外すると、利益は約2,000万円程度となる。

これと併せ、未処分利益剰余金変動額の根拠についても、分かりやすく説明する。

### 4. その他伝達事項

- 6日、彦根地方气象台による台風第5号に関する説明会があったので報告する。特別警報発令の可能性もあるとのことである。現在、今後の対策等について関係部署・機関による協議を行っている。なお、福祉班により救援物資をコミセンしのはら、コミセンみかみ、妙光寺の公民館に搬入する予定である。また、職員は必要に応じて水防班による対応を願う。(市民部・都市建設部)  
→保育園と学童保育所利用者への対応を怠らないこと。
- 5日、JR琵琶湖線矢萩川踏切南側市道久野部竹田線の路上(小篠原地先)において、停車中の50ccのバイクから出火する火災事故があった。車両は全焼、軌道敷地内の雑草約2.5㎡が焼損した。なお、周辺住民により初期消火対応をいただいた。(市民部)
- ひまわり迷路が8月13日まで開催されている。5日が約2,425人、6日が5,588人の来場者があった。(環境経済部)
- 8月10日午前10時より、市総合防災センターにおいて平和のつどいを開催する。(健康福祉部)

### 5. 次回部長会議の予定

8月14日(月) 8時45分～ 庁議室